



2005年6月13日

各 位

会 社 名 ローツェ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 崎 谷 文 雄  
( J A S D A Q ・ コード 6 3 2 3 )  
問合せ先  
役 職 執行役員 管理本部長  
氏 名 橋 本 勲  
電 話 0 8 4 - 9 6 0 - 0 0 0 1

## アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社の株式取得に関するお知らせ

当社は、2005年6月13日付でアイエス・テクノロジー・ジャパン有限会社(代表取締役社長 山崎幸登、本社：茨城県つくば市、資本金300万円)の株式会社化に伴い、発行済株式総数の47.62%を取得することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式取得の目的

このたびアイエス・テクノロジー・ジャパン有限会社の株式会社化に伴い、当社は10百万円を出資し、発行済株式総数の47.62%にあたる株式を取得いたします。また、当社代表取締役社長 崎谷文雄、取締役 金子 聡の2名が同社取締役に就任することになり、両社合意いたしました。

当社は、搬送機事業において、今後の成長が期待できるバイオ分野への本格的な事業展開を目指しております。同社のバイオ分野における技術力と、半導体及び液晶分野における搬送機事業で積み重ねてまいりました当社の技術力とを融合し、相互協力のもとで「ラボオートメーション事業」への積極的な事業展開をはかってまいります。

#### 2. 株式取得までの経緯

2001年1月、バイオ関連事業を展開することを目的として、山崎幸登氏により、アイエス・テクノロジー社が米国ハワイ州に設立されました。そして、2005年4月、日本での本格的な事業展開のために、アイエス・テクノロジー・ジャパン有限会社が設立されました。同社が行う事業は、主にバイオ関連事業であり、具体的には、「ラボオートメーション機器の開発及び販売業務」であります。

当社は、昨年、アイエス・テクノロジー社との技術営業取引の中で、バイオ関連事業に半導体・液晶用搬送機事業で培ってきた技術・ノウハウを融合したことにより、理化学研究所と全国の大学が連携してタンパク質の構造を解析している文部科学省の「タンパク3000プロジェクト」事業における「タンパク結晶化ロボット」において、確かな実績をおさめることができました。その結果、大手製薬メーカーであります「エーザイ株式会社 創薬技術研究所」に当社製の搬送システムを納入することができ、バイオ関連事業への展開が可能となってまいりました。そのため、今後に向けての相互協力関係を構築するに至ったものであります。

### 3. アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社の概要

- (1) 商号 アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社  
(旧 アイエス・テクノロジー・ジャパン有限会社)
- (2) 代表者 代表取締役社長 山崎幸登
- (3) 所在地 茨城県つくば市梅園二丁目5番地3号 梅園スクエアB105号
- (4) 設立年月日 2005年6月13日(株式会社への組織変更)
- (5) 事業内容 バイオ技術・半導体・液晶関連機器の開発及び販売業務
- (6) 決算月 2月
- (7) 従業員数 5名(2005年6月13日現在)
- (8) 増資日 2005年6月13日
- (9) 資本の額 2,100万円
- (10) 発行済株式総数 420株
- (11) 株主構成及び所有割合
- |          |      |        |
|----------|------|--------|
| 山崎幸登     | 220株 | 52.38% |
| ローツェ株式会社 | 200株 | 47.62% |

### 4. 株式取得前後の所有状況

- (1) 異動前の所有株式数 株 (所有割合 %)
- (2) 取得株式数 200株 (取得価格 10百万円)
- (3) 異動後の所有株式数 200株 (所有割合 47.62%)

### 5. 今後の見通し

2006年2月期の当企業グループの連結業績に与える影響は、軽微であります。

(参考) アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社 売上高見込み  
2006年2月期 約4億円

### 6. 同社製品のご紹介 <製品概要>

- (1) 製品名 The Super UHTS Robot E (SURE) シリーズ「4 (サイフォー)」
- (2) 特徴

製薬会社の創薬研究部門やゲノム・プロテオーム研究のコアラボで求められるストレージ・搬送・分注・インキュベーション・計測など一連の実験研究作業の全自動化を世界最高水準で達成する最新鋭ラボラトリー・オートメーション・システムです。

ピペッティング(分注)・デッキを通過する3本のレールの一方にプレートを供給するサーバーを2台、反対側には2本の腕を持つロボット(ローツェ製ロボット)とその周辺に高速ディテクター、インキュベーター、ストレージャーを配置し、装置背面にはチップを供給するサーバーを2台配置したパラレル搬送システムを採用しています。

この搬送システムの採用により、従来のラボ用 HTS (High Throughput Screening) Robot システムと比べて、基板のプレート穴の数が従来の96個から1,536個まで一括バッチ処理が可能となったことによって、搬送処理時間が大幅に短縮されるなど4倍~16倍の処理能力アップを、高い信頼性と精度で実現しています。

4のRobotシステムによって、プレート、チップ等のラブウエアの投入、廃棄においても研究員に負荷が掛からない構造で、ラボの作業環境も大幅に改善しています。

ピペティング・マシン Biomek FX<sup>(注)</sup>とラボオートメーション用スケジューリング・ソフトウェア SAMI<sup>(注)</sup>は、世界的に定評・実績のあるベックマン・コールター株式会社の製品を同社の協力で搭載しています。4のRobotシステムによって、プレート、チップなどのラブウェアを多数配置できる広いデッキと1台に2本のピペティング・ブリッジを持つというBiomek FX<sup>(注)</sup>の能力を十二分に引き出し、さらにSAM I<sup>(注)</sup>の並列処理で、搬送・分注・インキュベーション・測定まで最適化されたスケジュールで全自動運転されます。既存のラボ・オートメーションとの親和性も考慮し、従来のラボ用ロボットシステムのアップグレードに対応しており、大規模スクリーニングにも複合スクリーニングにも貢献できます。

(注)Biomek FX 及び SAMI は、ベックマン・コールター株式会社の登録商標です。

- (3) 市場規模            ローエンド機からハイエンド機まで含めて 100 億円以上
- (4) 販売価格            構成仕様により装置一式        35 百万円 ~ 120 百万円以上 (価格例)
- (5) 売上高              「 4 」の売上計画は以下のとおり
- |                  |         |
|------------------|---------|
| 2006 年 2 月期 (計画) | 60 百万円  |
| 2007 年 2 月期 (計画) | 180 百万円 |
| 2008 年 2 月期 (計画) | 360 百万円 |
- (6) 販売先              大手製薬メーカー、国公立研究機関
- (7) 競合会社            Tecan Group, Ltd. (スイス)  
PerkinElmer, Inc. (米国)  
九州松下電器株式会社        など
- (8) 受注状況と今後の見通し  
複数の製薬企業で購入検討されており商談中であります。
- (9) 製品に関するお問合せ先  
会社名    アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社  
電話番号   0 2 9 - 8 6 8 - 6 7 1 1



< The Super UHTS Robot E ( SURE ) シリーズ 「 4 ( サイフォー ) 」 >

以 上

( 投函場所 )  
東京 兜クラブ  
福山 市政記者クラブ